

討議した内容は・・・



気になるわね～

第26回気候変動枠組み条約締約国会議 (THE 26TH UN CLIMATE CHANGE CONFERENCE OF THE PARTIES: COP26)

31OCT – 12NOV 2021 GLASGOW COP26

<https://ukcop26.org/>

COP26って何？



2021年の国連気候変動会議のことね。Conference of the Parties＝締約国会議の頭文字を採ってCOP。世界的な気候サミットだから世界の国々に声掛けしてきたわ。気候変動は、地域問題から地球規模の優先課題に変わってきたわね

26は何の数字？



第26回目の会議で、2021年10月31日から11月13日までスコットランドのグラスゴーで開催されたのよ。12日までだったんだけど総意を取るのに1日会期が延長されたわ

COP21のパリ協定以来の関心事だわ



2015年のパリ協定の合意は、全ての国が協力して、地球温暖化を2°C未満に制限し、可能であれば1.5°Cを目指し、気候変動の影響に適応し、目標達成のために資金を利用できるようにしたのよ

1.5°Cは経済市場は苦しむかも？





そうね。でも、温暖化を止めないと海水面が上昇して、人類だけじゃなくて陸上の生き物が住める場所が減ったり、水生生物も水温が上昇すると生きていけなくなる可能性もあるから少しずつでも動き出さないとね～

パリ協定は、各国で温暖化ガス排出削減計画を見える化するよう促したわよ



今回のサミットでは、11月13日に全ての国が1.5°Cを維持し、グラスゴー気候協定に合意したわよ

グラスゴー協定？



今回の協定は、各国からの野心と行動の高まりと相まって、1.5°Cが視野に入って、気候の影響に対処するための活動を拡大しましょうということね。宇宙船地球号の乗組員みんなが、協調的かつ即時的な努力を惜しまない覚悟を宣言したのね

本当？1.5°Cを目指さなかったら？



バルバドスや小島嶼国は、海面上昇で水没しちゃうかも

まあ大変！
もう少し詳しく教えて





基本は、多国間主義を含むパリ協定と以前のCOPからの主要原則の継続、気候変動への自然と生物多様性の重要性、人権、先住民、地域社会、移民、子供、障害のある人々や脆弱な状況にある人々、ジェンダーの平等、女性の社会進出、世代間の平等とか人の権利の再確認ね

今回は、科学的根拠が後押ししてるわ？



そうね。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)のAR6報告による厳しい警告が、科学的に説明して、その報告に従ってCOPで決定を下すことが重要だったわね

Dr. Manabeのノーベル物理学賞受賞も影響が大きかったわ



確かに。パリ協定では難しかったけど、今回の協定では、意思決定プロセスに科学を組み込むという多くの締約国の希望が叶ったわ

適応していかなくっちゃ



まず、適応行動を強化する必要性を認識し、締約国は、適応に関する世界目標(G1aSS)に関する2年間のグラスゴー-シャルムエルシェイク作業プログラムの開始をCOP26で合意したわ

GlaSS作業プログラムの目的は？



全部で7つよ

教えて



- A. 適応行動と支援を強化する目的で、パリ協定の完全かつ持続的な実施を可能にする
- B. 適応に関する地球規模の目標の理解を深める
- C. 適応に関する地球規模の目標を達成するうえでなされた前向きな見直しを進める
- D. 適応行動の国家計画と実施を強化する
- E. 締約国が適応の優先順位、ニーズ、計画、行動をよりよく伝えることができるようにする
- F. 適応行動を監視・評価するための頑健で全国的に適切なシステムの確立を促進する
- G. 脆弱な途上国における適応行動の実施を強化する



途上国への金融支援があったわね？



2009年に合意され、15年のパリ協定で25年まで延長され、途上国のために20年までに年間1,000億ドルの気候資金を動員するという目標が設定されたんだけどね～



約束は守られなかった・・・



そう。適応資金は800億ドル弱で達成できなかったわ。
小島嶼途上国(SIDS)や途上国(LDC)にとって重大事件
ね。パリ協定では、財源の増加は適応と緩和のバラン
スを達成することを目指すべきであると言っていたわ

今回はどうなったの？



気候変動枠組融資計画は、先進国が1,000億ドルをいつ
どのように達成するかを今回再度、明らかにしたわ

結果は？



先進国締約国が、25年までに19年レベルから途上国
締約国に適応するための気候資金の提供を少なくと
も2倍にすると決めたわ。それから、適応基金の調
達努力を3.5億ドル以上としたわ。前回の最高水準の
約3倍よ。途上国基金への寄付は6億ドルに達するわ

今度は守られるかしら。
緩和の方はどうなの？





緩和の方は、締約国が「1.5°Cの到達範囲を維持するために」排出量を削減するための取り組みを加速するための段取りと対話を示したわ

それで？



締約国は10の努力を約束したわ

教えて



- 地球の気温上昇を1.5°Cに制限するという強い約束と、これから10年に行動を起こす。喫緊の課題である最新技術の必要性を認識する
- 「石炭火力の段階的廃止」と「非効率的な化石燃料補助金」および「世紀半ばまでにネットゼロ」
- 締約国は、22年に30年の排出削減目標を再検討し、必要に応じて、パリ協定の気温目標に沿ったものにするためにそれらを強化する
- COP27の前に、新たに世界的に決定された拠出金(NDC)を提出しなかった締約国へ要求し、世紀半ばまでにネットゼロに到達する計画を定めた長期戦略(LTS)を求める
- 20年に失効した長期戦略を延長し、利用可能な最良の科学に従って定期的に更新される

- 緩和の野心と実施に関する作業プログラムが開始され、30年以前の野心に関する年次ハイレベル閣僚会議が開催。これらのステップはいずれも、20年代の緩和に関する行動を加速させるわ
- NDCとLTSの進捗状況に関する最新情報を提供する年次統合レポート
- パリ協定の気温目標を達成する上での自然の重要な役割を強調
- 30年までの野心について、23年に国連事務総長が主催するリーダーレベルのサミットが開催

緩和の約束が10個ね。じゃあ次は、適応と緩和のための資金調達、技術移転、能力開発について順に教えて

資金調達については、パリ協定で1,000億ドルの目標があったけど、達成できなかったから今回のCOP26で、途上国の要望と資金の流れを調整して、25年から新しい目標に変わったわ

どんな背景があったの？

パリ協定の実施には、途上国の実行力と政策立案能力が必要だったのよ

締約国は、能力開発を進展させるための技術報告書の作成を検討していたわ



技術移転と技術支援に関する作業も重要ね



The Climate Technology Centre and Network (CTCN) とそのホスト機関である国連環境計画 (UNEP) との覚書を延長することになったわ

結果はどうなったの？



締約国は、27年まで長期財務に関する議論を続ける合意をして、財務常任委員会に、1,000億ドルの目標の達成に向けた進捗状況報告書の作成を要請したわ



技術的作業と政治的関与を義務付けた一連の閣僚対話を実施するために、臨時の作業プログラムも設立されたわ



締約国は、この手続きが途上国の要望と優先順位を考慮に入れたものであり、量・質・範囲・アクセスを含め合意したわ



COP26では、金融工学に関する重要な決定に加えて、パリ協定を具体的に進めるための気候基金への手引きを含む、膨大な量の技術的作業も合意に達したわ



締約国は、能力開発に関するパリ委員会の年次技術進捗報告を含む技術的作業にも合意したわ



あとは、移行期にある途上国と経済のための能力開発の枠組み作りも合意できたわ



締約国は、国際的な一貫性と能力開発の調整を強化し続けることの重要性を指摘して、そして、能力開発の格差を特定し、その解決策を見つけるために、途上国を引き続き支援する必要性を認識したわ



締約国は、COP26で気候変動行動の成果と能力開発に関する行動を進めるという強い公約を快く受け入れたのよ



COP26では、能力開発の課題について話し合うために利害関係者を集め、能力開発を必要とする4つのグループ(適応行動、金融への流れ、炭素市場への参加、透明性と報告)に分けたわ

どんな感じの小委員会なの？



各グループには、寄付する者と開発途上の締約国や関連する多様な専門家から課題が挙がっているわ



グループは定期的に会合を開き、国連地域気候週間で幅広い協議を行っているのよ

技術移転はうまくいったの？



- TECとCTCNは、共同プログラムの準備を検討することになったわ。締約国は、両部門間のより強固な協力を望んでいるわ



- 締約国は、さらに5年間CTCNを主催するために、UNEPとの覚書を更新することにしたのよ



- 締約国は、SIDS、LDC、東ヨーロッパが恒久的に代表されることを保証するために、CTCNの諮問委員会に追加の議席を割り当てることにも合意したわ



- 締約国はまた、メンバーシップを3つ(女性とジェンダー、青年NGO、先住民組織)の追加のオブザーバー構成員に拡大することにしたわよ



- 締約国は、限られた財源を含むCTCNが直面する課題に留意し、CTCNが資金源を多様化し、民間部門との関与を強化することを勧めたわ

資金集めが大変ね



あと、損失とか損害について議論されてるの？





損失と被害については、社会や生態系の適応能力の限界を超えて発生する気候変動の悪影響を議論しているわ



COP26では、人命、生計、生態系の喪失など、数百万人に損失と損害をもたらすことや、これらの増大する影響にどのように対応するかに大きな焦点を当てることも重要な議題だったのよ

損害の内容とか被害額とか定量化が必要ね



そうね。近年物議を醸している問題よ。特に気候変動の影響に対する責任と補償について見解が大きく分かれているのよ

どういう結論になったの？



COP26では、気候変動が既に損失と損害を引き起こしていることを共有したわ。損失と損害に取り組むために、より多くの資金が必要という認識で一致したのよ

それで？



損失と損害の回避、最小化、対処するために締約国への技術支援を手配し、資金を提供するサンティアゴネットワークの機能と資金調達の取り決めに合意したわ

おカネが掛かるわね～



それと、グラスゴー対話を進めたわ。そこでは、締約国、市民社会、技術者が集まり、損失と損害に適用される資金を増やす方法と、必要としている締約国がこれらの資金を使える方法について話し合うことにしたのよ

打ち出の小槌的な？



でもね。損失と損害に特化した資金調達施設を設立するという途上国からの提案について合意できなかったわ

コロナでどの国も財政は逼迫してるしね



7月のロンドンとミラノのCOP26事前閣僚級協議を通じて、損失と被害への政治的焦点は高まっていったわ



議長は、大臣補佐官にCOPで損失と損害に関する作業を進めるよう要請したわよ



協定には、気候変動対策が最重要課題として位置付けられているわ

なるほどね～



じゃあ実現する方法は？



適応、緩和、支援によって目的を達成することが効果的であることを保証するために、パリルールブックのすべての条項を完全に実施する方法が議論されたわ

ホスト国U.K. が頑張った？



パリ協定を完全に運用するための英国首相の最優先事項は、3年前に合意されたパリルールブックの未解決項目を封印することだったわ

パリルールブックは、パリ協定の実施を支えるための詳細なルールとシステムを固めちゃってるしね



締約国がパリ協定同意しなかった理屈があったのね

なに？



締約国がルールを前に進めつつ、時間は刻々と過ぎていったわ

それで結末は？





COP26は、今後2年間で、パリ協定で世界全体の気候変動対策を段階的に強化していくメカニズムの中心的な役割を果たすグローバル・ストックテイクと呼ばれる仕組みを動かすと決めたのよ



そして23年には確定する予定よ

COP26はパリルールブックを完成させたってこと？



そうね。締約国がパリ協定の実施を開始するために必要な未解決の政治的決定に糸口をみつけたのよ



締約国は、対応措置(気候政策の影響に対応する)や専門家協議グループ(報告要件を満たすのを助けるため)等、多くの重要な実践的および制度的取り決めに合意したわ

国連の気候プロセスとその構成機関が締約国の仕事を助けるわね



協力体制ができたのね



COP26は、オープンで包括的なものを目指したわ。若者に参加を呼びかけたり、先住民の役割を認識し、UNFCCC内の海洋に関する新たな方向性への呼びかけとかね



COP26までの準備期間中、英国のハイレベルチャンピオンであるナイジェルトップینگとチリのカウンターパートであるゴンザロムノズは、非党派の利害関係者の行動に取り組み、彼らと締約国との間の協力関係を構築し、より幅広い声を確実に拾えるようにして、気候変動対策を強化していったのよ

チャンピオンズの具体的な活動は何だったの？



例えば、ゼロへの競争、強靱化への競争、Glasgow Finance Alliance for Net Zero (GFANZ) 運動かしら

協力体制の結果はどうなったの？若者とか？



●気候教育、訓練、国民の意識向上、市民参加、情報への市民提供、国際協力の推進に焦点を当てた、気候エンパワーメントのための行動(ACE)に関する新しい10年間のグラスゴー作業プログラムに合意したわ



これは、ACEの政策の一貫性、調整、支援、監視を改善する柔軟な枠組みよ



最も注目すべき結果は、若者の認識よ。政府が国の代表団の一部として若者を含めることを奨励したわ。Cover Decisionは、プレCOPとしてイタリアが開催したYouth4climateイベントに続いて、恒久的なユースフォーラムを生み出したわ

- 
- 締約国は、来年に予定されているジェンダー行動計画の見直しのための構成要素に合意したわ。この進捗状況の見直しによって、今後のジェンダー行動計画の実施が強化されるわ
 - 協定はまた、締約国に対し、気候変動対策への女性の完全で有意義かつ平等な参加を増やし、ジェンダーに対応した実施と実施手段を確保することを奨励しているのよ

じゃあ先住民は？



- 
- 最初の2年間のLocal Communities and Indigenous Peoples' Platform (LCIPP) 作業計画の成功に続いて、LCIPP促進作業グループはさらに3年間の作業計画に合意したわ
 - 新しい作業計画では、対話、知識の共有、気候政策の能力に引き続き重点が置かれるけど、青年会議などの新しい活動が組み込まれるわ。COVID-19により延期された地域集会など、前回の作業計画の活動も含まれるのよ

なるほどね。

最後にUNFCCC内の海洋に関する新たな方向性は？



- 
- 締約国は、国連気候機関に海洋を作業に統合するよう要請することや、行動を強化するために海洋に関する年次対話を開始することを含む、国連気候プロセスにおける海洋に関する新たな行動に合意したわ



- 締約国は、国連の気候検討手続きにおける土地と気候変動に関する議論と行動により一貫性をもたらすための新しいステップに合意したのよ

制度上の問題はなかったの？



- パリ協定のコンプライアンス委員会の発足への合意と同様に、今後2年間のUNFCCCの予算が合意されたわ
- エジプトはCOP27のホストに、アラブ首長国連邦はCOP28のホストに決まったわ

ところで、マラケシュパートナーシップとハイレベルチャンピオンってなに？



- ハイレベルチャンピオンは野心を高めるためのマラケシュパートナーシップの改善に関する5カ年計画を開始したわ。これにより、各国政府との関わりが深まり、地域レベルでの利害関係者による活動が増え、特に新興市場と途上国のために、強靱化と金融に関する活動が促進されるでしょうね
- 締約国は、ハイレベルチャンピオンのリーダーシップとマラケシュパートナーシップの改善を歓迎したわ。マラケシュパートナーシップは、締約国と企業・自治体・投資家・市民社会を協力関係を築く枠組みのことよ

じゃあ、自然資本についても教えて？



● 自然と生態系の重要性、および私たちが直面している気候と生物多様性の課題との関係を認識する上で自然も資本であると定義したのよ。海と陸でのさらなる活動を含め、COPとCMAの決定を通じて11の自然テーマを言及したのよ。森林や生物多様性を含む気候変動の適応と緩和のために自然と生態系を保護、保全、回復するという重要な役割についての世界的な認識を高めることを目的としたわ



● COP26では、パリ協定の気温目標を達成するには自然の役割が重要であるということを強調したのよ。科学が明らかにしているように、自然なしで地球温暖化を1.5°Cに制御する方法は無いわ。締約国が自然と生態系の保護、保全、回復を国や地域の気候行動計画に組み込み、持続可能な生活と先住民や地域社会を支援することを奨励しているわ



う～ん。第6条が悩みね・・・



そうね。締約国が他の国で達成された排出削減を使用してNDCの一部を満たすために国際協力することを勧めているわ





例えば、国際的な「炭素クレジット」または「オフセット」を購入することによって、または新しい英国の排出権取引システムを別の国際システムにリンクするなど、炭素市場間を繋げることによって取引の可能性が出てくるわ

でも途上国は自国の排出量に含めたいわよね



パリ以来合意に達することができなかったので、合意に達したことが多国間の手続きの信頼性にとって重要なことよ

結果はどうなったの？



自主的な協力、新しい炭素クレジットメカニズム、および非市場アプローチをカバーすることで合意されたわ。それらの部分の中で、長年にわたって締約国を分割してきた主要な政治的問題について最終的に総意が得られたのよ。

- ・排出削減の二重計算を回避する方法
- ・クリーン開発メカニズム(CDM)クレジットの使用
- ・適応金融



この総意で、ホスト締約国は、新しいメカニズムによって生成されたクレジットの使用目的、NDCに対して使用するためのCDMクレジットの限定的な持ち越し、および締約国間で協力が行われる適応資金への自発的な貢献を明確にするわ。旧京都議定書体制からパリ協定の文書への移行を開始する、運用上の第6条への道が開かれたわ

でも時間があまりないかも？



総意(NDC)におけるタイムリミットは、3年前に合意できなかったパリ協定の実施に関するルールブックのとおりよ。パリ協定は合意されたものの、締約国の国家公約(NDC)の実施期間の長さについては合意がなかったわ。国の気候変動への取り組みがカバーする期間に関する一貫性の欠如は、目標と実施を追跡し、集約し、比較することができなかったわね～



20年以降、COP26でこの問題を解決し、25年の次のNDCラウンドに向けて締約国に明確性を与え、1.5°Cを維持するために必要な野心を高める取り組みを支援するよう求める声が高まっているわ



結局、どうなったの？



タイムリミットを決めることで、将来のNDCが同じ期間をカバーすることを保証するために締約国に手引きを提供したわ。25年に締約国によって提唱されたすべての公約は、35年の気候変動公約を示し、締約国が1.5°Cを維持するために順調に進んでいるかどうかを世界が確認できるようにする必要があるわね



透明性が大事ね



透明性を高めることで、パリ協定の実施に伴い、気候変動への取り組みの進捗状況を追跡および伝達する方法について合意したわ。各締約国は、毎年の温室効果ガス排出量報告に加えて、途上国に提供され、必要とされ、受けられた支援について、国家公約(NDC)の達成に向けた進捗状況を報告したわ。以前、先進国と途上国の締約国は、様々なシステムを様々な詳細レベルで使用していると報告していたけど、24年12月以降は、報告要件を共通化したわ



これは、パリ協定の目標を達成するために協調して進める理解を得られ、さらに何ができるかを理解するのに役立ち、次の行動と野心を奨励したのよ



結果は？



締約国は、パリ協定の下で強化された透明性の枠組みを実施するパッケージを採用することに合意したわ。これには、締約国の排出量、支援、公約に向けた進捗状況を報告する義務が含まれたわ



今年が、本当の意味で環境改善の元年なのかもしれないわね
おしまい

